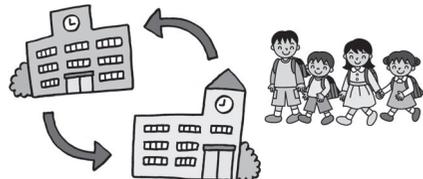


## 「コミュニティ・スクール」



コミュニティ・スクール、岐阜市では金華小学校と京町小学校が統合されて今年4月に新たにスタートする「岐阜小学校」に初めてこの制度が導入されます。この協議会の委員は地域、学校、保護者などで、法律に基づいて一定の権限が付与されているのがこれまでの制度と違う所です。

先ごろ文教委員会視察でこの制度を全国で初めて市内49すべての小中学校に導入した出雲市を視察しました。地域に開かれた特色を生かした教育活動を支援しようとふるさと学習のサポート、職場体験学習の支援など、3者が協働して取り組んでいる状況を知ることができました。

出雲市ではその他、わかりやすい理科授業を目指して科学館の最新の高度な設備、装置、機器などを使って創造的な実験学習も行われていました。現場の先生方の熱い思いも感じる視察でした。岐阜市での取り組みに参考にしていかねばと思いました。



理科授業（出雲科学館）

### お知らせ

## 「交流プラザ」開催します！

岐阜市のこと、そしてあなたが感じている身近なことを一緒に話し合ってみませんか？ 議会の報告もします。

今回のテーマは

### 「生活の中で困っていること」

と き 1月26日（土） 午後2時～4時頃まで

ところ 高橋かずえ事務所  
岐阜市矢島町2丁目29番地（バス停「伊奈波通り」より南へ100m）

### 高橋かずえの市民生活相談

お困りのことがありましたら、お気軽にお聞かせ下さい。

080-5151-4563



### 高橋かずえの略歴

1945年生まれ。愛知県立明和高卒。  
元岐阜放送アナウンサー・記者。岐阜市議会中継解説、介護番組など担当。  
女性の視点から番組づくりに当たる。05年定年退職。  
現在、日本福祉大学通信教育部在学中。  
法務省人権擁護委員。  
(有)訪問介護サービス「そばの花」役員

## 「高橋かずえ」の岐阜市政通信 No.3

発行編集 市議会議員 高橋 かずえ  
岐阜市松ヶ枝町20-4 TEL・FAX 058-266-4563  
ホームページ <http://www.gifu-tanpopo.jp>



11.4 地域公開授業参観（金華小学校）

議員にさせて頂いて初めての新年、今後多くの人と交流し、身近なこと、そして岐阜市全体を視野に、議会活動を地道に積み上げていく。このことを忘れず、自分に言い聞かせています。

昨年、地域ではさまざまな行事に声を掛けて頂き参加することができました。今年4月の学校統合に伴い閉校となる金華小学校と京町小学校では地域の人を交えた体育祭、授業参観そして人文字をつくって航空写真を撮影したりするなど思い出を残しました。この子たちに将来、夢と希望をもって社会を担ってほしい。そのためにも、私たち大人がこの子たちの

未来への橋渡しをしていくのだという責任をひしひしと感じました。

「環境」「福祉」「教育」「街づくり」どれも大事で順番はつけられませんが、「ひとりぼっちではないのだ」と一人一人が思える街づくりを一市民として、議員としてしっかりと取り組んでいきたいと思っています。あなたの声を、願いを、ぜひお聞かせ下さい。一緒に考えて下さい。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 岐阜市の平成二十年度 予算編成に対し、 無所属クラブからの要望

平成十九年十一月二十八日提出  
(七十七項目から抜粋)

- 総務関係
  - ・ 安易な業務委託の見直し
  - ・ 岐阜市男女共同参画推進条例に沿った施策の充実を
  - ・ 市情報市の市民への積極公開
- 産業関係
  - ・ 古い町並みの保全と活用
  - ・ 里山の保全
  - ・ 新たな観光開発
- 厚生関係
  - ・ 北部産廃の全量撤去に向けた取り組みの強化と関係者の責任追及
  - ・ 高齢者、認知症の人が住みやすい町づくり
  - ・ 障害者施策の拡充
  - ・ 子育て支援対策の拡充
- 建設関係
  - ・ 岐阜市の町づくりのデザインの統一
  - ・ 自転車道設置の促進
- 文教関係
  - ・ 中央図書館の早期建て替え
  - ・ 環境教育の推進
  - ・ いじめ、不登校対策の強化

## 高齢者虐待防止への取り組みについて

Q: 「高齢者虐待防止・介護者支援法」が施行されているが、高齢者虐待の現状と防止への取り組みは?

A: 虐待を受ける高齢者は認知症の人が多い。高齢者支援として民生委員や自治会、老人クラブといった組織をメンバーとしたネットワーク体制を地域包括支援センターが窓口となって作り、指導・助言をしている。また、高齢者虐待防止用啓発リーフレットを配布し、啓発に努めている。(箕浦市民福祉部長)



私は思います

虐待と自覚のないまま虐待してしまうケースもあるようだ。まずは虐待の実態を市民に正しく理解もらうことが肝心と思う。パンフレットの配布に留まらず、ポスターの掲示、講演会の開催、そしてこまめな継続性のある地域の学習会の開催が必要と思う。また緊急の受け入れ態勢の確立も要になると思う。虐待を受けている本人と苦しんでいる家族をみんなで息長くサポートしていくためにも関係者のネットワークの活動が柱になると思う。

## 下水汚泥焼却灰からのリン肥料化への取り組みについて

2007年(平成19年)12月4日 火曜日

＜岐阜新聞＞

岐阜市議会  
一般質問

### リン回収施設建設へ

汚泥焼却灰  
再利用  
市「来年度から」

岐阜市議会は三日、本会議を開き、質疑・一般質問を行った。高橋和江(無所属クラブ)、柳原寛(市民ネットワーク)、信田朝次(市政員同志会)、森久江(共産市議員)、辻孝子(市民会助党)の五議員が登壇した。高橋議員が、下水汚泥焼却灰の再利用の取り組みを質問。市は、国土交通省のプロジェクト採択され、二〇〇五(平成十七)年度から、焼却灰からリンを抽出して肥料化する技術開発に取り組みしている。北川哲夫(下水道事業部長)は「現在、肥料の販路確保と県のリサイクル認定を取得する作業を進めており、来年度から、リン回収施設の新設に着手したい」との考えを明らかにした。

北部プラントで行われている汚泥焼却灰からリン酸肥料を取り出す技術の実用化に向けての開発状況について北川下水道事業部長に質問した。



## 11月定例会 質疑

## 公園のトイレの清掃について

Q: 市民生活の中でまた観光面での印象を左右することもある公衆トイレの岐阜市内の設置数と清掃状況、また改修計画を伺いたい。



清水緑地(岐阜市加納清水町)

A: 市内には大小合わせて359箇所の公園があり、278箇所にトイレが設置されている。清掃は市職員と業者委託で実施している。清掃頻度はトイレの利用状況に応じてほぼ毎日行う所から週1回の清掃までさまざま。(河島都市建設部長)

私は思います

8月に粕森公園で行われる「かしもり夏まつり・あかりフェスティバル」に実行委員として参加したがトイレは問題が多かった。利用者のマナーも悪く詰まってしまうことが度々だった。市の職員も率先しての清掃業務に感謝するとともに、清水緑地に設置されたトイレを象徴に誰もが利用しやすい公衆トイレ設置を望みたい。

## 観光の振興

Q: 「岐阜のまちなか歩き」の5コースとなっている金華校区には歴史的建造物が多く残っている。しかし町屋の老朽化が進み、取り壊される家も多くなってきている。そんな中、今町の築150年の町屋を店舗に使った、ギャラリー兼喫茶店「芭蕉庵カフェ」が建築士たちによるNPO法人「歴史文化建造物等保存会・トラスト岐阜」の計画で10月の期間限定で実証実験された。週末だけのオープンだったが12日間で1200人が訪れ、いつ行っても多くの人で賑わっていた。この成果を次に繋げていくための町屋保存、活用への市の方針を伺いたい。



芭蕉庵カフェ(岐阜市今町)

A: 岐阜市では景観基本計画に基づき景観計画の策定作業を進めている。その主要な施策の一つとして、町屋等の歴史的・文化的価値がある建造物の保全再生と、その利活用による地域の活性化があり、来年度より新たな施策を展開していく考えだ。(小林まちづくり推進部長)

## 「マイはし運動」の取り組みについて

Q: 地球温暖化防止につなげようと県が呼びかけた「県民マイはし使用宣言」への岐阜市の取り組みは?

A: 岐阜市でも「まるごと環境フェア」を開催するなど、地球温暖化防止に向けてさまざまな取り組みをおこなっている。この「マイはし運動」への取り組みも検討したい。(片桐 人・自然共生部長)

私は思います

このマイはし運動は市民運動としても以前からさまざまな形で全国的にも展開されている。岐阜市では「マザーズアース市民ネット」のメンバーが和服の古布を加工して温もりを感じさせるはし袋とともに広げている。この利益の全額は障害者自立支援法の改正で運営が困難となっている授産所に贈られている。このマイはしを議場で紹介させて頂いた。私も時々忘れるがマイはしを持ち歩いて使用している。

傍聴するには?

議場に入る前に住所、氏名、年齢を傍聴券に記入すること。一般席と報道関係者席があります。一般席は72人と車椅子用に2人のスペースがあります。児童や乳児は議長の許可を得ないと傍聴席に入ることはできません。(母子室はありません)報道関係者以外の撮影は禁止されています。

